

平成17年度「学校基本調査」結果の概要

平成17年5月1日現在で実施した平成17年度「学校基本調査」の本市独自集計結果（通信制を除く）がまとまりましたので、その概要を紹介します。「学校基本調査」（文部科学省所管）は、学校に関する基本的事項を調査し、教育行政上の基礎資料を得ることを目的として、全ての学校を対象に毎年5月1日現在で実施しています。

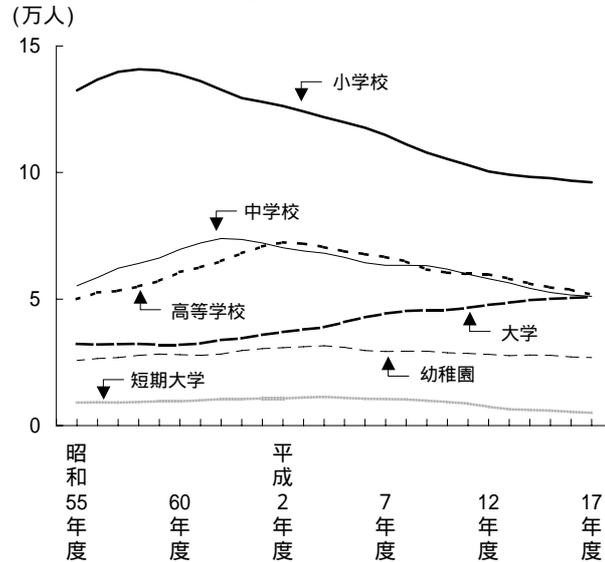
なお、ここに掲げる数値は、文部科学省及び北海道が公表する数値と異なる場合があります。

1. 札幌市の学校の概況

第1表により、平成17年5月1日現在の学校の概況をみると、札幌市に所在する学校数は675校となっており、前年度（670校）よりも5校増加している。

在学者数は311,506人で、前年度（317,057人）よりも5,551人減少している。また、学校別に在学者数の推移をみると、小学校は昭和58年度（140,794人）、中学校は62年度（73,970人）、高等学校は平成2年度（72,370人）をピークに減少を続けており、17年度は、小学校は96,167人、中学校は51,084人、高等学校は51,728人になっている。一方、大学は昭和60年度（31,863人）を底に増加を続けており、平成17年度は50,783人と中学校及び高等学校と同程度になっている。

第1図 学校別在学者数の推移
（各年5月1日現在）



注：第1表参照。
＜資料＞ 各短期大学、各大学、市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

第1表 学校数、在学者数の推移

詳細については該当の統計表を参照。

年度及び設置者	総数	各年5月1日現在									
		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	高等専門学校	短期大学	大学	盲・聾・養護学校	専修学校	各種学校
学 校 数											
平成12年度	679	151	213	108	55	1	11	11	12	83	34
13年度	678	151	213	108	55	1	11	11	12	82	34
14年度	r 680	151	213	107	55	1	10	r 12	12	86	33
15年度	r 676	151	213	107	55	1	10	r 12	12	84	31
16年度	r 670	151	210	107	55	1	9	r 12	13	82	30
17年度	675	151	211	108	55	1	9	12	13	84	31
国立1)	5	-	1	1	-	-	1	2	-	-	-
道立	39	-	-	-	28	-	-	1	9	1	-
市立	340	17	209	100	8	1	-	-	4	1	-
私立等2)	291	134	1	7	19	-	8	9	-	82	31
在 学 者 数											
平成12年度	332,179	28,176	100,384	58,069	59,739	446	7,405	47,507	1,308	21,931	7,214
13年度	326,525	27,689	99,170	56,443	57,972	442	6,459	48,519	1,286	21,623	6,922
14年度	r 323,207	27,906	98,303	54,271	56,157	440	6,188	r 49,536	1,301	22,118	6,987
15年度	r 320,038	27,761	97,714	52,649	54,624	441	5,885	r 50,129	1,294	24,816	4,725
16年度	r 317,057	27,124	96,813	51,610	53,693	452	5,460	r 50,424	1,333	25,008	5,140
17年度	311,506	26,882	96,167	51,084	51,728	367	5,065	50,783	1,316	24,357	3,757

注：1) 国立大学法人の設置する学校を含む。 2) 国立病院機構の設置する学校を含む。
＜資料＞ 各短期大学、各大学、教育委員会高等専門学校事務局、市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

2. 幼稚園の概況

第2表により、平成17年5月1日現在の幼稚園の概況をみると、幼稚園数は151園で、前年度と同数になっている。学級数は1,046学級で、前年度(1,053学級)に比べて7学級の減少となっている。教員数(本務者)は1,718人で、前年度(1,699人)に比べて19人の増加となっている。

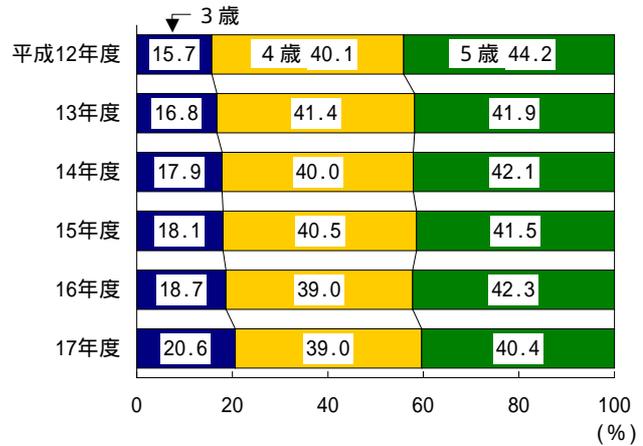
園児数は26,882人で、前年度(27,124人)に比べて242人の減少となっており、園児数は3年連続で減少している。

1学級当たりの園児数をみると、25.7人で前年度(25.8人)より0.1人減少している。また、本務教員1人当たりの園児数は15.6人で、前年度(16.0人)に比べて0.4人減少している。

第3表により、園児数を年齢別にみると、5歳児が10,850人で全体の40.4%を占めて最も多く、次いで、4歳児が10,497人(全体の39.0%)、3歳児が5,535人(20.6%)となっており、3歳児の割合が高まっている。

第4表により、17年度の小学校1年生児童数に対する前年度の幼稚園修了者の比率をみると、17年5月の小学校1年生(15,604人)に対して17年3月の幼稚園修了者数は11,431人となっており、その比率は73.3%と前年度(73.6%)に比べて0.3ポイント低下している。これは、保育園からの入学者が増加しているからと考えられる。

第2図 年齢別幼稚園の園児数の割合の推移
(各年5月1日現在)



<資料> 市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

第2表 幼稚園の概況

休園中を含む。

年度	実数						増加数			1学級当たりの園児数	本務教員1人当たりの園児数	本務教員に占める女子教員の比率(%)
	幼稚園数 1)	学級数	教員数(本務者)			園児数	学級数	教員数(本務者)	園児数			
			総数	男	女							
平成12年度	(1) 151	1,050	1,605	122	1,483	28,176	-	23	276	26.8	17.6	92.4
13年度	(-) 151	1,045	1,631	121	1,510	27,689	5	26	487	26.5	17.0	92.6
14年度	(-) 151	1,055	1,657	123	1,534	27,906	10	26	217	26.5	16.8	92.6
15年度	(-) 151	1,048	1,671	131	1,540	27,761	7	14	145	26.5	16.6	92.2
16年度	(-) 151	1,053	1,699	135	1,564	27,124	5	28	637	25.8	16.0	92.1
17年度	(-) 151	1,046	1,718	129	1,589	26,882	7	19	242	25.7	15.6	92.5

注：1) ()内は、休園中の幼稚園の内数である。

<資料> 市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

第3表 年齢別幼稚園の園児数の推移

年齢は、各年4月1日現在による満年齢である。

年度	各年5月1日現在			
	総数	3歳	4歳	5歳
平成12年度	28,176	4,424	11,310	12,442
13年度	27,689	4,641	11,457	11,591
14年度	27,906	4,987	11,157	11,762
15年度	27,761	5,013	11,239	11,509
16年度	27,124	5,069	10,591	11,464
17年度	26,882	5,535	10,497	10,850

<資料> 市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

第4表 小学校1年生児童数に対する幼稚園修了者の比率

年度	各年5月1日現在		
	前年度の幼稚園修了者数(A)	小学校1年生児童数(B)	比率(%) (A)/(B)
平成12年度	12,020	15,750	76.3
13年度	12,387	16,499	75.1
14年度	11,807	15,635	75.5
15年度	11,824	15,866	74.5
16年度	11,513	15,643	73.6
17年度	11,431	15,604	73.3

<資料> 市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

3. 小学校の概況

第5表により、平成17年5月1日現在の小学校の概況をみると、学校数は211校（うち分校2校）で、前年度より1校の増加となっている。学級数は3,279学級で、前年度（3,234学級）に比べて45学級の増加となっている。教員数（本務者）は4,751人で、前年度（4,699人）に比べて52人の増加で、4年連続の増加となっている。男女別にみると、男は2,466人で前年度（2,484人）に比べて18人減少しているが、女は2,285人で前年度（2,215人）に比べて70人増加している。また、本務教員に占める女子教員の比率は48.1%で、前年度（47.1%）に比べて1.0ポイント上昇しており、女子教員の比率の上昇が続いている。

児童数は96,167人で、前年度（96,813人）に比べて646人の減少となっている。1学級当たりの児童数をみると29.3人で、前年度（29.9人）に比べて0.6人減少している。教員（本務者）1人当たりの児童数は20.2人で、前年度（20.6人）に比べて0.4人減少している。

第6表により、学年別の児童数をみると、5年生が16,811人で全体の17.5%を占めて最も多く、以下、6年生が16,161人（16.8%）、3年生が16,004人（16.6%）、4年生が15,917人（16.6%）、2年生が15,670人（16.3%）、1年生が15,604人（16.2%）となっている。前年度と比較すると、3年生及び5年生で児童数が増加しているが、他の学年では減少している。

また、12年度に1年生であった学年の児童数の推移をみると、12年度（1年生）は15,750人、13年度（2年生）は15,751人、14年度（3年生）は15,864人、15年度（4年生）は15,970人、16年度（5年生）は16,103人、17年度（6年生）は16,161人と、進級するごとに同学年の児童数は増加している。この傾向は他の学年でもみることができ、札幌市では、転出していく児童よりも、転入してくる児童が多いと考えられる。

第5表 小学校の概況

分校を含む。

年 度	実 数						増 加 数			各年5月1日現在		
	小 学 校 数	学 級 数	教 員 数（本 務 者）			児 童 数	学 級 数	教 員 数 (本 務 者)	児 童 数	1 学 級 当 た り の 児 童 数	本 務 教 員 1 人 当 り の 児 童 数	本 務 教 員 に 占 め る 女 子 教 員 の 比 率 (%)
			総 数	男	女							
平成12年度	213	3,249	4,588	2,554	2,034	100,384	46	56	2,561	30.9	21.9	44.3
13年度	213	3,211	4,579	2,510	2,069	99,170	38	9	1,214	30.9	21.7	45.2
14年度	213	3,201	4,614	2,497	2,117	98,303	10	35	867	30.7	21.3	45.9
15年度	213	3,202	4,674	2,482	2,192	97,714	1	60	589	30.5	20.9	46.9
16年度	210	3,234	4,699	2,484	2,215	96,813	32	25	901	29.9	20.6	47.1
17年度	211	3,279	4,751	2,466	2,285	96,167	45	52	646	29.3	20.2	48.1

<資料> 市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

第6表 学年別小学校の児童数の推移

分校を含む。

年 度	児 童 数							割 合 (%)						
	総 数	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	総 数	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
平成12年度	100,384	15,750	16,261	16,767	16,744	16,860	18,002	100.0	15.7	16.2	16.7	16.7	16.8	17.9
13年度	99,170	16,499	15,751	16,267	16,827	16,868	16,958	100.0	16.6	15.9	16.4	17.0	17.0	17.1
14年度	98,303	15,635	16,546	15,864	16,368	16,925	16,965	100.0	15.9	16.8	16.1	16.7	17.2	17.3
15年度	97,714	15,866	15,746	16,632	15,970	16,488	17,012	100.0	16.2	16.1	17.0	16.3	16.9	17.4
16年度	96,813	15,643	15,927	15,819	16,735	16,103	16,586	100.0	16.2	16.5	16.3	17.3	16.6	17.1
17年度	96,167	15,604	15,670	16,004	15,917	16,811	16,161	100.0	16.2	16.3	16.6	16.6	17.5	16.8

<資料> 市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

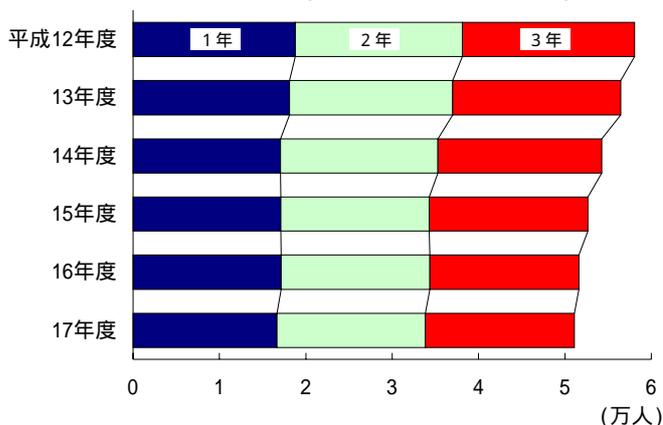
4. 中学校の概況

第7表により、平成17年5月1日現在の中学校の概況をみると、学校数は108校（うち分校2校）で、前年度より1校の増加となっている。学級数は1,501学級で、前年度（1,507学級）に比べて6学級の減少となっている。教員数（本務者）は2,973人で、前年度（2,929人）に比べて44人の増加となっている。男女別にみると、男は1,855人で前年度（1,833人）に比べて22人の増加となっており、女も1,118人で前年度（1,096人）に比べて22人の増加となっている。また、本務教員に占める女子教員の比率は37.6%で、前年度（37.4%）に比べて0.2ポイント上昇している。

生徒数は51,084人で、前年度（51,610人）に比べて526人の減少となっている。1学級当たりの生徒数は34.0人で、前年度（34.2人）に比べて0.2人減少している。教員（本務者）1人当たりの生徒数は17.2人で、前年度（17.6人）に比べて0.4人減少している。

第8表により、学年別の生徒数をみると、3年生が17,252人で全体の33.8%を占めており、2年生が17,160人（33.6%）、1年生が16,672人（32.6%）となっている。前年度と比べると、すべての学年で減少しており、1年生が470人の減少、2年生が55人の減少、3年生が1人の減少となっている。

第3図 中学校の学年別生徒数の推移
（各年5月1日現在）



注：分校を含む。
＜資料＞ 市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

第7表 中学校の概況

分校を含む。

年度	実数						増加数			各年5月1日現在		
	中学校数	学級数	教員数（本務者）			生徒数	学級数	教員数（本務者）	生徒数	1学級当たりの生徒数	本務教員1人当たりの生徒数	本務教員に占める女子教員の比率（%）
			総数	男	女							
平成12年度	108	1,655	3,076	1,940	1,136	58,069	39	57	1,755	35.1	18.9	36.9
13年度	108	1,621	3,054	1,906	1,148	56,443	34	22	1,626	34.8	18.5	37.6
14年度	107	1,574	3,002	1,886	1,116	54,271	47	52	2,172	34.5	18.1	37.2
15年度	107	1,538	2,982	1,856	1,126	52,649	36	20	1,622	34.2	17.7	37.8
16年度	107	1,507	2,929	1,833	1,096	51,610	31	53	1,039	34.2	17.6	37.4
17年度	108	1,501	2,973	1,855	1,118	51,084	6	44	526	34.0	17.2	37.6

＜資料＞ 市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

第8表 学年別中学校の生徒数の推移

分校を含む。

年度	生徒数				割合（%）				増加数			
	総数	1年	2年	3年	総数	1年	2年	3年	総数	1年	2年	3年
平成12年度	58,069	18,778	19,362	19,929	100.0	32.3	33.3	34.3	1,755	507	457	791
13年度	56,443	18,096	18,899	19,448	100.0	32.1	33.5	34.5	1,626	682	463	481
14年度	54,271	17,080	18,218	18,973	100.0	31.5	33.6	35.0	2,172	1,016	681	475
15年度	52,649	17,122	17,175	18,352	100.0	32.5	32.6	34.9	1,622	42	1,043	621
16年度	51,610	17,142	17,215	17,253	100.0	33.2	33.4	33.4	1,039	20	40	1,099
17年度	51,084	16,672	17,160	17,252	100.0	32.6	33.6	33.8	526	470	55	1

＜資料＞ 市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

5. 高等学校の概況

第9表により、平成17年5月1日現在の高等学校の概況をみると、学校数は55校で、前年度と同数になっている。教員数（本務者）は3,211人で、前年度（3,242人）に比べて31人の減少となっている。また、本務教員に占める女子教員の比率をみると18.4%で、前年度（18.2%）に比べて0.2ポイント上昇している。

生徒数は51,728人で、前年度（53,693人）に比べて1,965人の減少と2千人近く減少している。

第10表により、生徒数を学年別にみると、3年生が17,208人で全体の33.3%を占めて最も多く、次いで、2年生が17,136人（33.1%）、1年生が16,974人（32.8%）、4年生が410人（0.8%）となっている。課程別にみると、全日制が48,951人で全体の94.6%を占めており、定時制は2,777人（5.4%）となっている。

また、学科別にみると、普通科が44,866人で全体の86.7%を占めて最も多く、以下、商業科が2,853人（5.5%）、工業科が2,687人（5.2%）、その他（理数科、コスモサイエンス科、英語科、国際科、国際文化科、美術科、音楽科、食物科）が1,322人（2.6%）となっている。

第9表 高等学校の概況

年 度	実 数								増 加 数		本務教員 1人当 たりの 生徒数	本務教員 に占める 女子教員 の比率 (%)
	高 等 学 校 数				教 員 数 (本 務 者)			生徒数	教員数 (本務者)	生徒数		
	総 数	課 程 別			総 数	男	女					
全 日 制		定 時 制	併 置									
平成12年度	55	43	2	10	3,447	2,865	582	59,739	7	186	17.3	16.9
13年度	55	43	2	10	3,382	2,784	598	57,972	65	1,767	17.1	17.7
14年度	55	43	2	10	3,320	2,704	616	56,157	62	1,815	16.9	18.6
15年度	55	43	2	10	3,270	2,680	590	54,624	50	1,533	16.7	18.0
16年度	55	43	2	10	3,242	2,651	591	53,693	28	931	16.6	18.2
17年度	55	43	2	10	3,211	2,620	591	51,728	31	1,965	16.1	18.4

<資料> 市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

第10表 学年・課程・学科別高等学校の生徒数の推移

年 度	学 年 別					(再掲)課程別		(再掲)学 科 別			
	総 数	1 年	2 年	3 年	4 年	全 日 制	定 時 制	普 通	工 業	商 業	その他1)
割 合 (%)											
平成12年度	59,739	20,182	19,903	19,151	503	56,084	3,655	51,429	3,534	3,930	846
13年度	57,972	19,002	19,243	19,209	518	54,488	3,484	50,077	3,276	3,809	810
14年度	56,157	18,888	18,144	18,603	522	52,852	3,305	48,519	3,180	3,630	828
15年度	54,624	18,613	17,991	17,592	428	51,565	3,059	47,298	2,845	3,537	944
16年度	53,693	18,065	17,770	17,423	435	50,819	2,874	47,204	2,783	2,538	1,168
17年度	51,728	16,974	17,136	17,208	410	48,951	2,777	44,866	2,687	2,853	1,322
平成12年度	100.0	33.8	33.3	32.1	0.8	93.9	6.1	86.1	5.9	6.6	1.4
13年度	100.0	32.8	33.2	33.1	0.9	94.0	6.0	86.4	5.7	6.6	1.4
14年度	100.0	33.6	32.3	33.1	0.9	94.1	5.9	86.4	5.7	6.5	1.5
15年度	100.0	34.1	32.9	32.2	0.8	94.4	5.6	86.6	5.2	6.5	1.7
16年度	100.0	33.6	33.1	32.4	0.8	94.6	5.4	87.9	5.2	4.7	2.2
17年度	100.0	32.8	33.1	33.3	0.8	94.6	5.4	86.7	5.2	5.5	2.6

注：1) 理数科、コスモサイエンス科、英語科、国際科、国際文化科、美術科、音楽科、食物科。

<資料> 市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

6. 高等専門学校の概況

第11表により、平成17年5月1日現在の高等専門学校の概況をみると、学校数は市立高等専門学校の1校である。また、教員数(本務者)は31人と、前年度(36人)より5人の減少となっている。

学生数は367人で前年度(452人)に比べて85人の減少となっている。これは、17年度から本科学生の募集を停止したためである。男女別にみると、女が311人、男は56人となっており、学生に占める女子の比率は84.7%となっている。また、学生のうち、「本科」が316人、「専攻科」が51人で、本科学生の学科はすべてインダストリアル・デザイン学科である。

7. 盲・聾・養護学校の概況

第12表により、平成17年5月1日現在の盲・聾・養護学校の概況をみると、学校数は、盲学校及び聾学校はそれぞれ1校、養護学校が11校(うち分校1校)で、前年度と同数になっている。

教員数(本務者)は盲学校が63人で前年度(57人)に比べて6人の増加、聾学校が51人で前年度(53人)に比べて2人の減少、養護学校が709人で前年度(726人)に比べて17人の減少となっている。

在学者数をみると、盲学校は106人で前年度(102人)に比べて4人の増加、聾学校は121人で前年度(123人)に比べて2人の減少、養護学校は1,089人で前年度(1,108人)に比べて19人の減少となっている。

第11表 高等専門学校の概況

年 度	各年5月1日現在								学生に占める女子の比率 (%)	
	実 数						増 加 数			
	学 校 数	教 員 数 (本務者)	学 生 数			本 科 1)	専 攻 科	教 員 数 (本務者)		学 生 数
			総 数	男	女					
平成12年度	1	39	446	63	383	398	48	1	13	85.9
13年度	1	38	442	62	380	397	45	1	4	86.0
14年度	1	38	440	58	382	395	45	-	2	86.8
15年度	1	38	441	62	379	395	46	-	1	85.9
16年度	1	36	452	64	388	402	50	2	11	85.8
17年度	1	31	367	56	311	316	51	5	85	84.7

注：1) インダストリアル・デザイン学科
 <資料> 教育委員会高等専門学校事務局

第12表 盲・聾・養護学校の概況

分校を含む。

年 度	盲 学 校			聾 学 校			養 護 学 校		
	学 校 数	教 員 数 (本務者)	在 学 者 数	学 校 数	教 員 数 (本務者)	在 学 者 数	学 校 数	教 員 数 (本務者)	在 学 者 数
平成12年度	1	60	89	1	50	127	10	656	1,092
13年度	1	61	85	1	52	124	10	686	1,077
14年度	1	59	87	1	49	110	10	709	1,104
15年度	1	58	93	1	51	123	10	708	1,078
16年度	1	57	102	1	53	123	11	726	1,108
17年度	1	63	106	1	51	121	11	709	1,089

<資料> 市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

8. 短期大学の概況

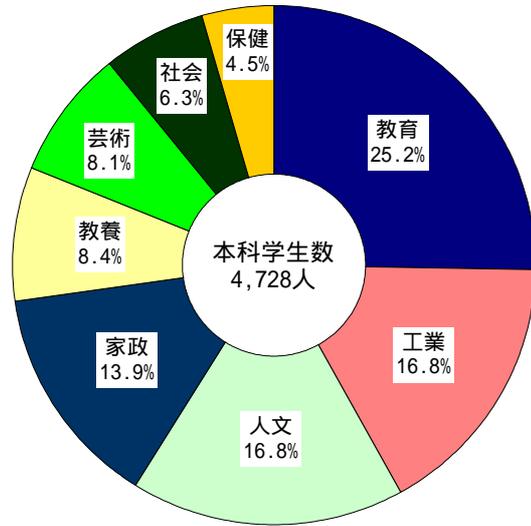
第13表により、平成17年5月1日現在の短期大学の概況をみると、学校数は9校で前年度と同数になっている。教員数(本務者)は265人で、前年度(257人)に比べて8人の増加となっている。

学生数は、5,065人と前年度(5,460人)に比べて395人減少している。また、学生数を男女別にみると、男が962人、女が4,103人となっており、学生に占める女子の比率は81.0%となっている。

また、学生のうち、「本科」は4,728人、「専攻科」は295人、「別科」は9人、「選科生・聴講生・研究生等」は33人となっている。

第14表により、関係学科別に本科学生数をみると、「教育」が1,193人で全体の25.2%を占めて最も多く、以下、「工業」が794人(16.8%)、「人文」が793人(16.8%)、「家政」が657人(13.9%)、「教養」が395人(8.4%)、「芸術」が385人(8.1%)、「社会」が298人(6.3%)、「保健」が213人(4.5%)となっている。

第4図 関係学科別短期大学の本科学生数の割合
(平成17年5月1日現在)



<資料> 各短期大学

第13表 短期大学の概況

石狩市所在の藤女子短期大学生生活学科の学生数(平成12年度72人)を含む。

年度	実 学 生 数									増 加 数		学生に占める女子の比率 (%)
	学校数	教員数 (本務者)	学 生 数			本 科	専 攻 科	別 科	選科生・ 聴講生・ 研究生等	教員数 (本務者)	学生数	
			総 数	男	女							
平成12年度	11	282	7,405	1,153	6,252	7,126	128	-	151	80	1,289	84.4
13年度	11	271	6,459	1,055	5,404	6,141	194	-	124	11	946	83.7
14年度	10	247	6,188	1,043	5,145	5,779	192	-	217	24	271	83.1
15年度	10	243	5,885	1,090	4,795	5,529	212	-	144	4	303	81.5
16年度	9	257	5,460	1,051	4,409	5,109	254	17	80	14	425	80.8
17年度	9	265	5,065	962	4,103	4,728	295	9	33	8	395	81.0

<資料> 各短期大学

第14表 関係学科別短期大学の本科学生数

石狩市所在の藤女子短期大学生生活学科の学生数(平成12年度72人)を含む。

年度	総 数	各 学 科 別								
		人 文	社 会	教 養	工 業	保 健	家 政	教 育	芸 術	
平成12年度	7,126	1,281	472	694	978	736	1,296	1,235	434	
13年度	6,141	956	439	591	877	668	1,009	1,186	415	
14年度	5,779	896	438	502	849	616	870	1,196	412	
15年度	5,529	904	410	436	845	610	740	1,144	440	
16年度	5,109	895	333	425	837	406	680	1,133	400	
17年度	4,728	793	298	395	794	213	657	1,193	385	

<資料> 各短期大学

9. 大学の概況

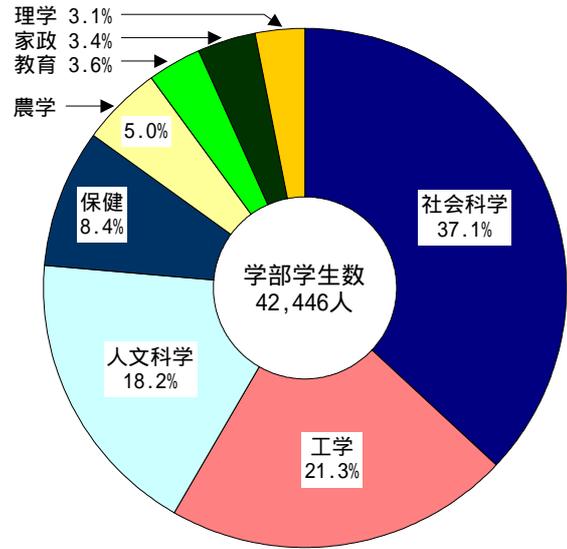
第15表により、平成17年5月1日現在の大学の概況をみると、学校数は12校と、前年度と同数になっている。教員数（本務者）は3,579人と、前年度（3,617人）に比べて38人減少している。

学生数は50,783人で、前年度（50,424人）に比べて359人の増加となっている。学生数を男女別にみると、男が33,408人、女が17,375人となっており、学生に占める女子の比率は34.2%で、前年度（34.0%）よりも0.2ポイント上昇している。

また、学生のうち、「学部」学生は42,446人で、「大学院」は7,029人、「専攻科」は9人、「選科生・聴講生・研究生等」は1,299人となっている。

第16表により、関係学部別に学部学生数をみると、「社会科学」が15,735人で全体の37.1%を占めて最も多く、以下、「工学」が9,033人（21.3%）、「人文科学」が7,705人（18.2%）、「保健」が3,579人（8.4%）、「農学」が2,104人（5.0%）、「教育」が1,518人（3.6%）、「家政」が1,455人（3.4%）、「理学」が1,317人（3.1%）となっている。

第5図 関係学科別大学の学部学生数の割合（平成17年5月1日現在）



<資料> 各大学

第15表 大学の概況

石狩市所在の藤女子大学人間生活学部の学生数（平成12年度 731人、13年度 894人、14年度 965人、15年度 1,060人、16年度 1,062人、17年度 1,059人）及び北海道大学水産学部の函館キャンパス分を含む。

年 度	実 数										増 加 数		学生に占める女子の比率 (%)
	学校数	教員数 (本務者)	学 生 数					教員数 (本務者)	学生数				
			総 数			大学院	学 部			専攻科			
			総 数	男	女								
平成12年度	11	3,442	47,691	32,976	14,715	5,878	39,949	29	-	1,835	74	1,185	30.9
13年度	11	3,451	48,519	33,089	15,430	6,296	40,530	29	-	1,664	9	828	31.8
14年度	r 12	r 3,517	r 49,536	r 33,295	r 16,241	6,532	r 41,392	8	-	1,604	66	1,017	32.8
15年度	r 12	r 3,558	r 50,129	r 33,154	r 16,975	6,582	r 41,953	14	-	1,580	41	593	33.9
16年度	r 12	r 3,617	r 50,424	r 33,255	r 17,169	r 6,719	r 42,255	13	-	r 1,437	59	295	34.0
17年度	12	3,579	50,783	33,408	17,375	7,029	42,446	9	-	1,299	38	359	34.2

<資料> 各大学

第16表 関係学科別大学の学部学生数

石狩市所在の藤女子大学人間生活学部の学生数（平成12年度 731人、13年度 894人、14年度 965人、15年度 1,060人、16年度 1,062人、17年度 1,059人）及び北海道大学水産学部の函館キャンパス分を含む。

年 度	各 学 部									
	総 数	人文科学	社会科学	理 学	工 学	農 学	保 健	家 政	教 育	
平成12年度	39,949	6,579	16,388	1,296	8,800	2,116	2,428	827	1,515	
13年度	40,530	6,862	16,375	1,292	8,796	2,085	2,514	1,090	1,516	
14年度	r 41,392	7,139	16,462	1,302	8,903	2,103	r 2,727	1,265	1,491	
15年度	r 41,953	7,460	16,246	1,302	8,979	2,073	r 2,941	1,448	1,504	
16年度	r 42,255	7,653	15,923	1,298	9,086	2,075	r 3,258	1,458	1,504	
17年度	42,446	7,705	15,735	1,317	9,033	2,104	3,579	1,455	1,518	

<資料> 各大学

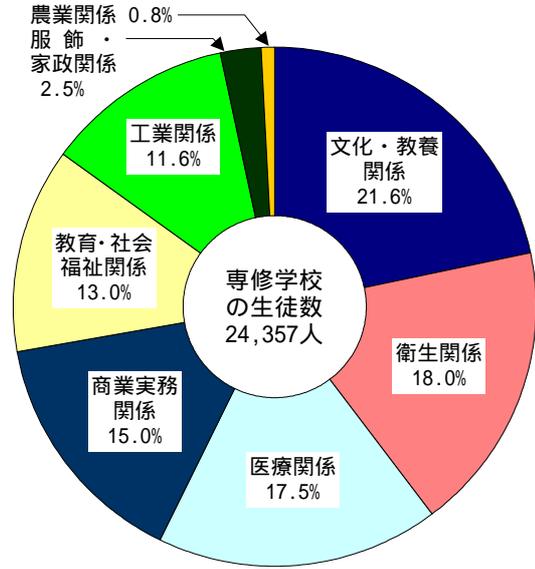
10. 専修学校及び各種学校の概況

第17表により、平成17年5月1日現在の専修学校及び各種学校の概況をみると、学校数では、専修学校は84校と前年度(82校)に比べて2校増加しており、各種学校は31校(うち休校中の学校が15校)と前年度(30校)に比べて1校増加している。教員数(本務者)をみると、専修学校は1,127人と前年度(1,100人)に比べて27人の増加となっており、各種学校も170人と前年度(154人)に比べて16人の増加となっている。

生徒数をみると、専修学校は24,357人と前年度(25,008人)に比べて651人の減少、各種学校は3,757人と前年度(5,140人)に比べて1,383人の減少となっている。

また、第18表により、専修学校の生徒数を学科・課程別でみると、「文化・教養関係」が5,272人で全体の21.6%を占めて最も多く、以下、「衛生関係」が4,386人(18.0%)、「医療関係」が4,263人(17.5%)などとなっている。

第6図 学科・課程別専修学校の生徒数の割合 (平成17年5月1日現在)



<資料> 市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

第17表 専修・各種学校の概況

休校中の学校を含む。

年度	実数								増加数		生徒に占める女子の比率 (%)
	学校数	教員数(本務者)			生徒数			教員数(本務者)	生徒数		
		総数	男	女	総数	男	女				
専修学校											
平成12年度	(2) 83	1,020	577	443	21,931	10,190	11,741	30	496	53.5	
13年度	(1) 82	1,001	561	440	21,623	9,715	11,908	19	308	55.1	
14年度	(1) 86	1,033	565	468	22,118	9,716	12,402	32	495	56.1	
15年度	(-) 84	1,090	597	493	24,816	11,435	13,381	57	2,698	53.9	
16年度	(-) 82	1,100	597	503	25,008	11,406	13,602	10	192	54.4	
17年度	(-) 84	1,127	597	530	24,357	10,894	13,463	27	651	55.3	
各種学校											
平成12年度	(14) 34	270	218	52	7,214	4,253	2,961	14	588	41.0	
13年度	(14) 34	259	211	48	6,922	4,132	2,790	11	292	40.3	
14年度	(14) 33	246	202	44	6,987	4,278	2,709	13	65	38.8	
15年度	(14) 31	208	166	42	4,725	2,675	2,050	38	2,262	43.4	
16年度	(14) 30	154	118	36	5,140	2,978	2,162	54	415	42.1	
17年度	(15) 31	170	132	38	3,757	2,244	1,513	16	1,383	40.3	

注：1) ()内は休校中の学校の内数である。

<資料> 市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

第18表 学科・課程別専修学校の生徒数

年度	総数	専修学校					各種学校			
		工業関係	農業関係	医療関係	衛生関係	教育・社会福祉関係	商業実務関係	服飾・家政関係	文化・教養関係	
平成12年度	21,931	3,957	213	5,537	2,003	1,924	3,554	1,478	3,265	
13年度	21,623	3,885	206	5,648	2,084	1,819	3,306	1,374	3,301	
14年度	22,118	3,740	198	4,442	2,915	2,651	3,352	830	3,990	
15年度	24,816	3,438	193	4,537	3,899	2,803	3,339	764	5,843	
16年度	25,008	3,107	194	4,716	4,357	2,965	3,628	743	5,298	
17年度	24,357	2,816	205	4,263	4,386	3,157	3,642	616	5,272	

<資料> 市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

11. 小学校及び中学校の長期欠席者数

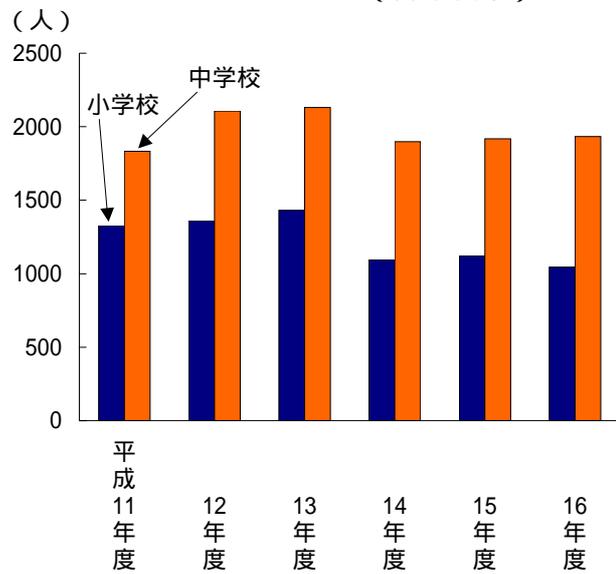
第19表により、平成16年度中の小学校及び中学校の長期欠席者数（年度間通算30日以上）の欠席者数）をみると、小学校は1,045人となっており、前年度（1,120人）に比べて75人減少している。

理由別にみると、「病気」が603人で最も多く、「不登校」が245人、「その他」が197人となっている。また、前年度と比べると、「その他」は34人増加しているが、「病気」は75人、「不登校」は34人とそれぞれ減少している。

中学校をみると、長期欠席者数は1,933人となっており、前年度（1,918人）に比べて15人増加している。

理由別にみると、「不登校」が1,218人で最も多く、「病気」が545人、「その他」が170人となっている。また、前年度と比べると、「病気」が37人、「その他」が4人とそれぞれ増加しているが、「不登校」は26人減少している。

第7図 小学校及び中学校の長期欠席者数の推移（各年度中）



注：第19表参照。
 <資料> 市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

第19表 小学校及び中学校の理由別長期欠席者数

年度間通算30日以上）の欠席者数である。

年度	小学校					中学校				
	総数	病気	経済的 理由	不登校	その他	総数	病気	経済的 理由	不登校	その他
	各年度中									
	欠 席 者 数									
平成11年度	1,328	895	-	245	188	1,834	501	-	1,074	259
12年度	1,360	913	-	266	181	2,107	576	-	1,256	275
13年度	1,431	925	-	298	208	2,130	541	-	1,338	251
14年度	1,095	672	-	286	137	1,898	457	-	1,244	197
15年度	1,120	678	-	279	163	1,918	508	-	1,244	166
16年度	1,045	603	-	245	197	1,933	545	-	1,218	170
	対 前 年 度 増 加 数									
平成11年度	109	102	-	26	19	42	64	-	119	97
12年度	32	18	-	21	7	273	75	-	182	16
13年度	71	12	-	32	27	23	35	-	82	24
14年度	336	253	-	12	71	232	84	-	94	54
15年度	25	6	-	7	26	20	51	-	-	31
16年度	75	75	-	34	34	15	37	-	26	4

<資料> 市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

12. 卒業後の状況

(1) 中学校

第20表により、中学校卒業者の卒業後の状況をみると、平成17年3月の卒業者数は17,272人となっており、前年度(18,377人)に比べて1,105人減少している。

進路別にみると、「進学者」が16,945人で全体の98.1%とほとんどを占めており、以下、家事手伝い、進路先未定などの「左記以外の者」が208人(1.2%)、「就職者」が55人(0.3%)、「専修学校等入学者」が53人(0.3%)、「公共職業能力開発施設等入学者」11人(0.1%)となっている。さらに、「進学者」の内訳をみると、「高等学校(全日制)」が16,014人(92.7%)で最も多く、以下、「高等学校(定時制)」が554人(3.2%)、「高等学校(通信制)」が209人(1.2%)、「その他」が130人(0.8%)、「高等専門学校」が38人(0.2%)となっている。

また、第21表により、就職者数(「進学者」、「専修学校等入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者を含む。)を産業(部門)別にみると、第1次産業が2人(3.6%)、第2次産業が27人(49.1%)、第3次産業が12人(21.8%)などとなっている。

第20表 中学校卒業者の卒業後の状況

前年度3月卒業者の数値である。

年 度	総 数	各 年 5 月 1 日 現 在										
		進 学 者 1)						専 修 学 校 等 入 学 者 2)	公 共 職 業 能 力 開 発 施 設 等 入 学 者 3)	就 職 者 4)	左 記 以 外 の 者	死 亡 ・ 不 詳 者
		総 数	高 等 学 校 (全 日 制)	高 等 学 校 (定 時 制)	高 等 学 校 (通 信 制)	高 等 専 門 学 校	そ の 他					
		卒 業 者						者 数				
平成12年度	20,739	20,216	18,928	840	223	110	115	108	35	114	265	1
13年度	19,934	19,417	18,212	798	203	99	105	131	31	92	262	1
14年度	19,502	19,033	17,850	753	213	97	120	114	25	96	233	1
15年度	18,991	18,596	17,500	681	191	98	126	73	9	82	223	8
16年度	18,377	18,053	16,971	577	253	102	150	63	8	57	194	2
17年度	17,272	16,945	16,014	554	209	38	130	53	11	55	208	-
		割						合 (%)				
平成12年度	100.0	97.5	91.3	4.1	1.1	0.5	0.6	0.5	0.2	0.5	1.3	0.0
13年度	100.0	97.4	91.4	4.0	1.0	0.5	0.5	0.7	0.2	0.5	1.3	0.0
14年度	100.0	97.6	91.5	3.9	1.1	0.5	0.6	0.6	0.1	0.5	1.2	0.0
15年度	100.0	97.9	92.1	3.6	1.0	0.5	0.7	0.4	0.0	0.4	1.2	0.0
16年度	100.0	98.2	92.3	3.1	1.4	0.6	0.8	0.3	0.0	0.3	1.1	0.0
17年度	100.0	98.1	92.7	3.2	1.2	0.2	0.8	0.3	0.1	0.3	1.2	-

注：1) 就職進学者を含む。 2) 専修学校、各種学校に入学した者であり、就職して入学した者を含む。 3) 就職して入学した者を含む。 4) 「進学者」、「専修学校等入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」を除く数値であり、自家自営業に就いた者を含み、家事手伝いあるいは一時的な仕事に就いた者は含まない。

<資料> 市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

第21表 中学校卒業者の就職状況

前年度3月卒業者の数値である。「進学者」、「専修学校等入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者を含む。

年 度	総 数	就 職 者 数							割 合 (%)						
		産 業 (部 門) 別				(再掲)就職地別			産 業 (部 門) 別				(再掲)就職地別		
		第 1 次 産 業	第 2 次 産 業	第 3 次 産 業	分 類 不 能 の 産 業	道 外	道 内	道 外	道 内	第 1 次 産 業	第 2 次 産 業	第 3 次 産 業	分 類 不 能 の 産 業	道 外	道 内
平成12年度	121	3	65	42	11	15	106	100.0	2.5	53.7	34.7	9.1	12.4	87.6	
13年度	96	3	47	31	15	10	86	100.0	3.1	49.0	32.3	15.6	10.4	89.6	
14年度	98	4	54	32	8	7	91	100.0	4.1	55.1	32.7	8.2	7.1	92.9	
15年度	83	2	42	29	10	10	73	100.0	2.4	50.6	34.9	12.0	12.0	88.0	
16年度	62	4	28	21	9	10	52	100.0	6.5	45.2	33.9	14.5	16.1	83.9	
17年度	55	2	27	12	14	5	50	100.0	3.6	49.1	21.8	25.5	9.1	90.9	

<資料> 市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

(2) 高等学校

第22表により、高等学校卒業者の卒業後の状況をみると、平成17年3月の卒業生数は17,121人となっており、前年度(17,242人)に比べて121人減少している。

進路別にみると、「進学者」が8,025人で全体の46.9%を占めて最も多く、以下、「専修学校等入学者」が5,651人(33.0%)、家事手伝い、進路先未定などの「左記以外の者」が1,746人(10.2%)、「就職者」が1,469人(8.6%)、「一時的な仕事に就いた者」が147人(0.9%)、「公共職業能力開発施設等入学者」が72人(0.4%)となっている。

さらに「進学者」の内訳をみると、「大学」が6,782人(39.6%)、「短期大学」が1,232人(7.2%)などとなっている。また、「専修学校等入学者」の内訳をみると、「専修学校」が4,053人(23.7%)、「各種学校」が1,598人(9.3%)となっている。

第23表により、高等学校卒業者について大学の学部及び短期大学の本科への入学志願者(以下、「大学・短

第22表 高等学校卒業者の卒業後の状況

前年度3月卒業者の数値である。

年 度	総 数	各年5月1日現在												
		進 学 者 1)				専修学校等入学者2)			公共職業能力開発施設等入学者2)	就職者3)	一時的な職に就いた者4)	左記以外の者	死亡・詳細の	
		総 数	大 学	短 期 大 学	その他	総 数	専 修 学 校	各 種 学 校						
		卒				業			者					
平成12年度	18,267	8,641	6,742	1,807	92	5,530	3,806	1,724	95	1,834	...	2,155	12	
13年度	18,636	8,737	7,083	1,636	18	5,869	4,031	1,838	87	1,961	...	1,907	75	
14年度	18,702	8,329	6,878	1,435	16	6,372	4,248	2,124	98	1,652	...	2,250	1	
15年度	18,271	8,179	6,774	1,394	11	6,377	4,272	2,105	60	1,595	...	2,060	-	
16年度	17,242	7,725	6,523	1,194	8	5,847	4,094	1,753	78	1,395	104	2,093	-	
17年度	17,121	8,025	6,782	1,232	11	5,651	4,053	1,598	72	1,469	147	1,746	11	
男	8,737	4,405	4,177	221	7	2,638	1,610	1,028	67	793	81	753	-	
女	8,384	3,620	2,605	1,011	4	3,013	2,443	570	5	676	66	993	11	
		割				合						(%)		
平成12年度	100.0	47.3	36.9	9.9	0.5	30.3	20.8	9.4	0.5	10.0	...	11.8	0.1	
13年度	100.0	46.9	38.0	8.8	0.1	31.5	21.6	9.9	0.5	10.5	...	10.2	0.4	
14年度	100.0	44.5	36.8	7.7	0.1	34.1	22.7	11.4	0.5	8.8	...	12.0	0.0	
15年度	100.0	44.8	37.1	7.6	0.1	34.9	23.4	11.5	0.3	8.7	...	11.3	-	
16年度	100.0	44.8	37.8	6.9	0.0	33.9	23.7	10.2	0.5	8.1	0.6	12.1	-	
17年度	100.0	46.9	39.6	7.2	0.1	33.0	23.7	9.3	0.4	8.6	0.9	10.2	0.1	
男	100.0	50.4	47.8	2.5	0.1	30.2	18.4	11.8	0.8	9.1	0.9	8.6	-	
女	100.0	43.2	31.1	12.1	0.0	35.9	29.1	6.8	0.1	8.1	0.8	11.8	0.1	

注：1) 就職進学者を含む。 2) 就職して入学した者を含む。 3) 「進学者」、「専修学校等入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」を除く数値であり、自家自営業に就いた者を含み、家事手伝いあるいは一時的な仕事に就いた者は含まない。 4) 平成16年度より区分開始。

<資料> 市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

第23表 高等学校卒業者の男女別大学・短期大学入学志願状況

前年度3月卒業者の数値である。

年 度	卒 業 者 数						大学・短期大学入学志願者数1)			大学・短期大学入学志願率(%)2)		
	総 数		男	女	総 数		男	女	総 数		男	女
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
平成12年度	18,267	8,917	9,350	10,754	5,711	5,043	58.9	64.0	53.9			
13年度	18,636	9,136	9,500	11,008	5,876	5,132	59.1	64.3	54.0			
14年度	18,702	9,367	9,335	11,016	6,027	4,989	58.9	64.3	53.4			
15年度	18,271	9,142	9,129	10,837	5,971	4,866	59.3	65.3	53.3			
16年度	17,242	8,658	8,584	10,335	5,682	4,653	59.9	65.6	54.2			
17年度	17,121	8,737	8,384	10,279	5,748	4,531	60.0	65.8	54.0			

注：1) 大学(学部)・短期大学(本科)への入学志願者数である。 2) 大学・短期大学入学志願者数/卒業者数

<資料> 市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

期大学入学志願者」と略記)の状況をみると、17年3月の高等学校卒業者数(17,121人)のうち、大学・短期大学入学志願者数は10,279人で、大学・短期大学入学志願率(卒業者数に占める大学・短期大学入学志願者数の割合)は60.0%となっており、6割を超えている。

これを男女別にみると、男は65.8%で前年度(65.6%)に比べて0.2ポイント上昇したが、女は54.0%で前年度(54.2%)に比べて0.2ポイント低下している。

第24表により、就職者数(「進学者」、「専修学校等入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者を含む。)を産業大分類別でみると、「卸売・小売業」が292人で就職者全体の19.8%を占めて最も多く、以下、「サービス業(他に分類されないもの)」が263人(17.9%)、「製造業」が204人(13.9%)、「公務(他に分類されないもの)」が183人(12.4%)、「建設業」が144人(9.8%)などとなっている。

男女別に各産業の就職者数をみると、男では、「製造業」が162人で男の就職者全体の20.4%を占めて最も多く、以下、「サービス業(他に分類されないもの)」が135人(17.0%)、「公務(他に分類されないもの)」が133人(男の就職者全体の16.8%)、「建設業」が120人(15.1%)、「卸売・小売業」が93人(11.7%)などとなっている。

女では、「卸売・小売業」が199人で女の就職者全体の29.3%を占めて最も多く、次いで、「サービス業(他に分類されないもの)」が128人(女の就職者全体の18.9%)となっており、この2産業で全体の半数程度を占めている。

また、就職地別に就職者をみると、「道内」が1,374人(全体の93.3%)で9割以上を占めており、「道外」は98人(6.7%)となっている。

第24表 高等学校卒業者の就職状況

平成17年3月卒業者の数値である。「進学者」、「専修学校等入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者を含む。

平成17年5月1日現在

産業(大分類)、就職地	就職者数			産業・就職地別割合(%)			男女別割合(%)		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	1,472	793	679	100.0	100.0	100.0	100.0	53.9	46.1
A～C 農林漁業	5	4	1	0.3	0.5	0.1	100.0	80.0	20.0
D 鉱業	2	1	1	0.1	0.1	0.1	100.0	50.0	50.0
E 建設業	144	120	24	9.8	15.1	3.5	100.0	83.3	16.7
F 製造業	204	162	42	13.9	20.4	6.2	100.0	79.4	20.6
G 電気・ガス・熱供給・水道業	19	11	8	1.3	1.4	1.2	100.0	57.9	42.1
H 情報通信業	28	12	16	1.9	1.5	2.4	100.0	42.9	57.1
I 運輸業	66	44	22	4.5	5.5	3.2	100.0	66.7	33.3
J 卸売・小売業	292	93	199	19.8	11.7	29.3	100.0	31.8	68.2
K 金融・保険業	19	1	18	1.3	0.1	2.7	100.0	5.3	94.7
L 不動産業	1	1	-	0.1	0.1	-	100.0	100.0	-
M 飲食店、宿泊業	84	38	46	5.7	4.8	6.8	100.0	45.2	54.8
N 医療、福祉	47	6	41	3.2	0.8	6.0	100.0	12.8	87.2
O 教育、学習支援業	4	-	4	0.3	-	0.6	100.0	-	100.0
P 複合サービス事業	97	25	72	6.6	3.2	10.6	100.0	25.8	74.2
Q サービス業(他に分類されないもの)	263	135	128	17.9	17.0	18.9	100.0	51.3	48.7
R 公務(他に分類されないもの)	183	133	50	12.4	16.8	7.4	100.0	72.7	27.3
S 分類不能の産業	14	7	7	1.0	0.9	1.0	100.0	50.0	50.0
		就職地別							
道外	98	78	20	6.7	9.8	2.9	100.0	79.6	20.4
道内	1,374	715	659	93.3	90.2	97.1	100.0	52.0	48.0

<資料> 市民まちづくり局企画部統計課「学校基本調査」

(3) 短期大学

第25表により、短期大学卒業者の卒業後の状況をみると、平成17年3月の卒業生数は2,475人となっており、前年度(2,527人)に比べて52人減少している。

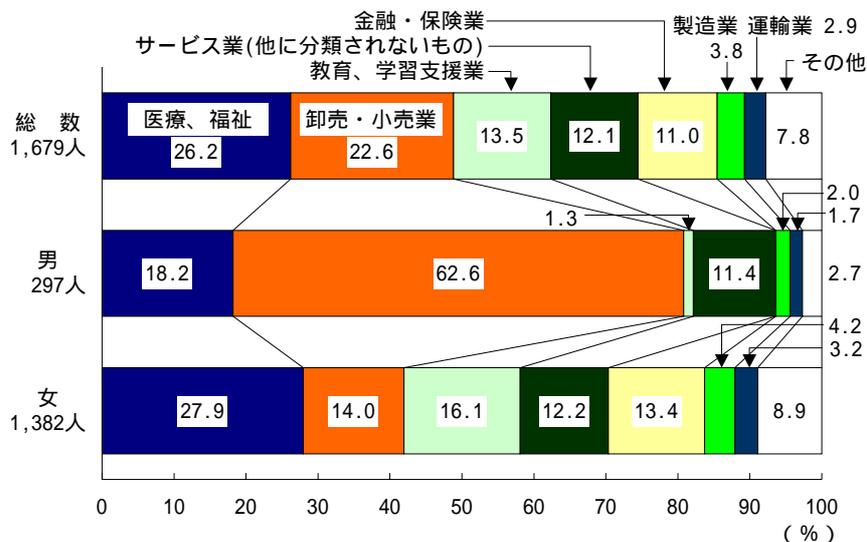
進路別にみると、「就職者」が1,679人で全体の67.8%を占めて最も多く、以下、家事手伝い、研究生として学校に残っている者などの「左記以外の者」が352人(14.2%)、「進学者」が251人(10.1%)、「一時的な仕事に就いた者」が89人(3.6%)、「専修学校・外国の学校等入学者」が53人(2.1%)、「死亡・不詳の者」が51人(2.1%)となっている。

第26表により、就職者数を産業大分類別でみると、「医療、福祉」が440人で就職者全体の26.2%を占めて最も多く、以下、「卸売・小売業」が380人(22.6%)、「教育、学習支援業」が227人(13.5%)、「サービス業(他に分類されないもの)」が203人(12.1%)、「金融・保険業」が185人(11.0%)などとなっている。

男女別に各産業の就職者数をみると、男では、「卸売・小売業」が186人で男の就職者全体の62.6%を占めて最も多く、以下、「医療、福祉」が54人(男の就職者全体の18.2%)、「サービス業(他に分類されないもの)」が34人(11.4%)などとなっている。

女では、「医療、福祉」が386人で女の就職者全体の27.9%を占めて最も多く、以下、「教育、学習支援業」が223人(女の就職者全体の16.1%)、「卸売・小売業」が194人(14.0%)、「金融・保険業」が185人(13.4%)、「サービス業(他に分類されないもの)」が169人(12.2%)などとなっている。

第8図 短期大学卒業者の産業大分類別就職者数の割合 (平成17年5月1日現在)



注：平成17年3月卒業者の数値である。

<資料> 各短期大学

第25表 短期大学卒業者の卒業後の状況

前年度3月卒業者の数値である。本科を卒業した者の数値であり、専攻科、別科などの修了者は含まない。また、石狩市所在の藤女子短期大学生活学科の卒業生数(平成12年度 111人、13年度 72人)を含む。

年 度	卒 業 者 数 (1)							割 合 (%)						
	総数	進学者	就職者	専修学校・外国の学校等入学者	一時的な仕事に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者	総数	進学者	就職者	専修学校・外国の学校等入学者	一時的な仕事に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者
平成12年度	4,096	323	2,359	...	191	1,203	20	100.0	7.9	57.6	...	4.7	29.4	0.5
13年度	3,646	326	2,270	...	120	874	56	100.0	8.9	62.3	...	3.3	24.0	1.5
14年度	2,816	209	1,769	...	147	663	28	100.0	7.4	62.8	...	5.2	23.5	1.0
15年度	2,686	218	1,612	...	176	672	8	100.0	8.1	60.0	...	6.6	25.0	0.3
16年度	2,527	232	1,577	67	112	535	4	100.0	9.2	62.4	2.7	4.4	21.2	0.2
17年度	2,475	251	1,679	53	89	352	51	100.0	10.1	67.8	2.1	3.6	14.2	2.1
男	417	28	297	3	9	80	-	100.0	6.7	71.2	0.7	2.2	19.2	-
女	2,058	223	1,382	50	80	272	51	100.0	10.8	67.2	2.4	3.9	13.2	2.5

注：1) 就職進学者を含む。 2) 夜間部卒業者のうち、在学中よりその職に就いている者を含む。 3) 平成16年度より区分開始。

<資料> 各短期大学

また、就職地別に就職者をみると、「市内」が1,037人(全体の61.8%)で全体の6割以上を占めており、以下、「道内他市町村」が571人(34.0%)、「道外」が71人(4.2%)となっている。

第26表 短期大学卒業者の就職状況

平成17年3月卒業者の数値である。

平成17年5月1日現在

産業(大分類)、就職地	就職者数			産業・就職地別割合(%)			男女別割合(%)		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
	産 業 別								
総数	1,679	297	1,382	100.0	100.0	100.0	100.0	17.7	82.3
A～C 農 林 漁 業	1	1	-	0.1	0.3	-	100.0	100.0	-
D 鉱 業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E 建 設 業	23	3	20	1.4	1.0	1.4	100.0	13.0	87.0
F 製 造 業	64	6	58	3.8	2.0	4.2	100.0	9.4	90.6
G 電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H 情 報 通 信 業	9	-	9	0.5	-	0.7	100.0	-	100.0
I 運 輸 業	49	5	44	2.9	1.7	3.2	100.0	10.2	89.8
J 卸 売 ・ 小 売 業	380	186	194	22.6	62.6	14.0	100.0	48.9	51.1
K 金 融 ・ 保 険 業	185	-	185	11.0	-	13.4	100.0	-	100.0
L 不 動 産 業	11	-	11	0.7	-	0.8	100.0	-	100.0
M 飲 食 店 、 宿 泊 業	39	1	38	2.3	0.3	2.7	100.0	2.6	97.4
N 医 療 、 福 祉	440	54	386	26.2	18.2	27.9	100.0	12.3	87.7
O 教 育 、 学 習 支 援 業	227	4	223	13.5	1.3	16.1	100.0	1.8	98.2
P 複 合 サ ー ビ ス 事 業	22	1	21	1.3	0.3	1.5	100.0	4.5	95.5
Q サ ー ビ ス 業 (他に分類されないもの)	203	34	169	12.1	11.4	12.2	100.0	16.7	83.3
R 公 務 (他に分類されないもの)	26	2	24	1.5	0.7	1.7	100.0	7.7	92.3
S 分 類 不 能 の 産 業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	就 職 地 別								
道 外	71	24	47	4.2	8.1	3.4	100.0	33.8	66.2
道 内 他 市 町 村	571	71	500	34.0	23.9	36.2	100.0	12.4	87.6
市 内	1,037	202	835	61.8	68.0	60.4	100.0	19.5	80.5

<資料> 各短期大学

(4) 大学

第27表により、大学卒業者の卒業後の状況をみると、平成17年3月の卒業生数は9,073人となっており、前年度(8,997人)に比べて76人増加している。

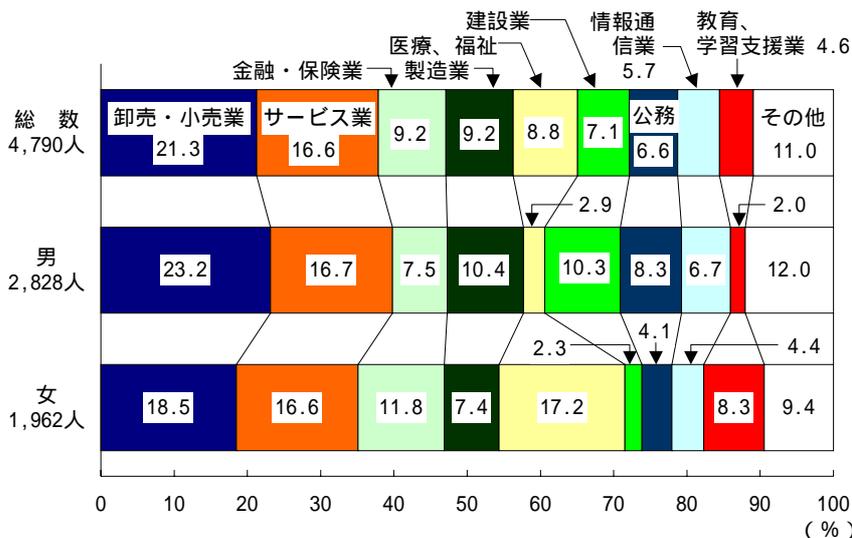
進路別にみると、「就職者」が4,790人で全体の52.8%を占めて最も多く、以下、家事手伝い、研究生として学校に残っている者などの「左記以外の者」が2,140人(23.6%)、「進学者」が1,436人(15.8%)、「一時的な仕事に就いた者」が347人(3.8%)、「臨床研修医」が204人(2.2%)、「専修学校・外国の学校等入学者」が99人(1.1%)、「死亡・不詳の者」が57人(0.6%)となっている。

割合を男女別に見ると、「就職者」は男が49.4%と50.0%を割っているのに対して、女は58.6%と男を9.2ポイント上回っている。一方、「進学者」は男が19.0%に対して、女が10.4%と男を8.6ポイント下回っている。

第28表により、就職者数を産業大分類別でみると、「卸売・小売業」が1,018人で就職者全体の21.3%を占めて最も多く、以下、「サービス業(他に分類されないもの)」が797人(16.6%)、「金融・保険業」が442人(9.2%)、「製造業」が440人(9.2%)、「医療・福祉」が420人(8.8%)などとなっている。

男女別に各産業の就職者数をみると、男では、「卸売・小売業」が655人で男の就職者全体の23.2%を占めて最も多く、以下、「サービス業(他に分類されないもの)」が471人(16.7%)、「製造業」が294人(10.4%)、

第9図 大学卒業者の産業大分類別就業者数の割合 (平成17年5月1日現在)



注：平成17年3月卒業者の数値である。
 <資料> 各大学

第27表 大学卒業者の卒業後の状況

前年度3月卒業者の数値である。学部を卒業した者の数値であり、大学院、専攻科、別科などの修了者は含まない。また、函館市所在の北海道大学水産学部の卒業生数(平成12年度239人、13年度227人、14年度193人、15年度216人、16年度202人、17年度197人)及び石狩市所在の藤女子大学人間生活学部の卒業生数(12年度143人、13年度148人、14年度187人、15年度165人、16年度256人、17年度266人)を含む。

年度	卒業生数								割合 (%)							
	総数	進学者 ¹⁾	就職者 ²⁾	臨床研修医	専修学校・外国の学校等入学者 ³⁾	一時的な仕事に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者	総数	進学者 ¹⁾	就職者 ²⁾	臨床研修医	専修学校・外国の学校等入学者 ³⁾	一時的な仕事に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者
平成12年度	8,602	1,364	4,080	174	...	251	2,585	148	100.0	15.9	47.4	2.0	...	2.9	30.1	1.7
13年度	8,755	1,398	4,405	185	...	240	2,371	156	100.0	16.0	50.3	2.1	...	2.7	27.1	1.8
14年度	8,415	1,370	3,973	200	...	300	2,464	108	100.0	16.3	47.2	2.4	...	3.6	29.3	1.3
15年度	8,728	1,375	4,256	209	...	370	2,387	131	100.0	15.8	48.8	2.4	...	4.2	27.3	1.5
16年度	8,997	1,478	4,498	233	98	229	2,313	148	100.0	16.4	50.0	2.6	1.1	2.5	25.7	1.6
17年度	9,073	1,436	4,790	204	99	347	2,140	57	100.0	15.8	52.8	2.2	1.1	3.8	23.6	0.6
男	5,726	1,087	2,828	149	68	194	1,368	32	100.0	19.0	49.4	2.6	1.2	3.4	23.9	0.6
女	3,347	349	1,962	55	31	153	772	25	100.0	10.4	58.6	1.6	0.9	4.6	23.1	0.7

注：1) 就職進学者を含む。 2) 夜間部卒業者のうち、在学中よりその職に就いている者を含む。 3) 平成16年度より区分開始。
 <資料> 各大学

「建設業」が292人(10.3%)、「公務(他に分類されないもの)」が236人(8.3%)などとなっている。

女では、「卸売・小売業」が363人で女の就職者全体の18.5%を占めて最も多く、以下、「医療・福祉」が337人(17.2%)、「サービス業(他に分類されないもの)」が326人(16.6%)、「金融・保険業」が231人(11.8%)、「教育、学習支援業」が162人(8.3%)などとなっている。

就職地別にみると、「市内」が2,114人(44.1%)、「道外」が1,886人(39.4%)、「道内他市町村」が790人(16.5%)となっている。また、男女別にみると、男では、「道外」が1,258人(男全体の44.5%)で最も多くなっており、女では、「市内」が988人(女全体の50.4%)で最も多くなってきている。

第28表 大学卒業者の就職状況

平成17年3月卒業者の数値である。

平成17年5月1日現在

産業(大分類)、就職地	就職者数			産業・就業地別割合(%)			男女別割合(%)		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
	産			業			別		
総数	4,790	2,828	1,962	100.0	100.0	100.0	100.0	59.0	41.0
A～C 農林漁業	18	13	5	0.4	0.5	0.3	100.0	72.2	27.8
D 鉱業	1	-	1	0.0	-	0.1	100.0	-	100.0
E 建設業	338	292	46	7.1	10.3	2.3	100.0	86.4	13.6
F 製造業	440	294	146	9.2	10.4	7.4	100.0	66.8	33.2
G 電気・ガス・熱供給・水道業	31	24	7	0.6	0.8	0.4	100.0	77.4	22.6
H 情報通信業	275	189	86	5.7	6.7	4.4	100.0	68.7	31.3
I 運輸業	143	88	55	3.0	3.1	2.8	100.0	61.5	38.5
J 卸売・小売業	1,018	655	363	21.3	23.2	18.5	100.0	64.3	35.7
K 金融・保険業	442	211	231	9.2	7.5	11.8	100.0	47.7	52.3
L 不動産業	80	58	22	1.7	2.1	1.1	100.0	72.5	27.5
M 飲食店、宿泊業	153	99	54	3.2	3.5	2.8	100.0	64.7	35.3
N 医療、福祉	420	83	337	8.8	2.9	17.2	100.0	19.8	80.2
O 教育、学習支援業	219	57	162	4.6	2.0	8.3	100.0	26.0	74.0
P 複合サービス事業	45	20	25	0.9	0.7	1.3	100.0	44.4	55.6
Q サービス業 (他に分類されないもの)	797	471	326	16.6	16.7	16.6	100.0	59.1	40.9
R 公務 (他に分類されないもの)	316	236	80	6.6	8.3	4.1	100.0	74.7	25.3
S 分類不能の産業	54	38	16	1.1	1.3	0.8	100.0	70.4	29.6
	就			職			地		
道外	1,886	1,258	628	39.4	44.5	32.0	100.0	66.7	33.3
道内他市町村	790	444	346	16.5	15.7	17.6	100.0	56.2	43.8
市内	2,114	1,126	988	44.1	39.8	50.4	100.0	53.3	46.7

<資料> 各大学